

令和2年2月21日

足立区立長門小学校
学校長 會川 大和 様

足立区立長門小学校 開かれた学校づくり協議会
会長 下島 利代

令和元年度 学校関係者評価書

1. 自己評価書全般について

<学力や指導力の向上について>

○今年度の学力調査は、今までの基礎基本的な問題だけでなく、活用力を問う問題が多く出され、区全体での目標値も下がってしまったが、依然として本校は区内上位校であった。学力の格差は広がってしまっているが、今後も基礎基本の定着に重点を置き、底上げを図っていくとのことであり期待する。また、来年度の新指導要領施行に向け、ICT機器の活用等によって授業改善を図る先生が増えており、児童の学習意欲が高まっていることから、今後も先生方には努力をお願いしたい。

<心身の健康の充実について>

○年度当初の健康診断で学校医より出された治癒証明を、今年度は家庭の協力のもと、ほぼ100%の回収があり、健康に関する意識づけを家庭にも行えたことはよかった。

○昨年度、大きな問題だったSNSに関するトラブルは、今年度はアンケート結果から95%の児童がトラブルなく過ごせているとのこと、安心している。

○感染症については現在も指導を継続されており、本校ではまだ今年度インフルエンザ等の流行もなく学級閉鎖もない。新型コロナウイルスにも気をつけながら今後も指導を続けてほしい。

<個性や特性に応じた指導の充実について>

○不登校児童が一人もいないという学校は区内でも珍しく、今後も児童全員が楽しく学校生活を送ってくれるようお願いしたい。

○支援が必要な児童に対して、適切な対応をしていると感じる。今後も指導の工夫をお願いしたい。

2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

○昨年度の台風19号では、地域の方々のチーム力により、無事災害から守ることができた。今後も地防災・減災について地域と連携していきたい。また、児童、保護者の防災訓練等への参加については今後も協力をお願いする。

○登下校の防犯対策については、今後も保護者・地域と密に連携していく。

3. その他

○今年度の開かれた学校づくり協議会でも、全教員参加のグループ討論会を行ったが、住区まつりと日程が重なってしまい、参加人数が減ってしまった。来年度は日程を確認し、多くの参加者のもと協議できるよう企画する。

○宿題の量について、学年間で差があったり、かなり家庭に負担をかけている場合がある。できれば学校全体で話し合っただき、宿題の量を平均化していただいたり、計画化してほしい。

○登校班は安全面から非常によいので今後も続けてほしい。できれば下校も集団で行ってほしい。